

バリアウォール

一体型

2500

分割型

3000



供用道路と拡幅工事等の路側工事区域を分離するプレキャストコンクリート仮設落石防護柵です。下部には車両用防護柵機能が、上部には落石防護柵と遮音壁機能があります。

特長

1 複数の機能

落石防護柵と車両用防護柵の機能を併せ持っています。

2 掘削不要

舗装面に設置しますので掘削する必要がありません。

3 容易な施工

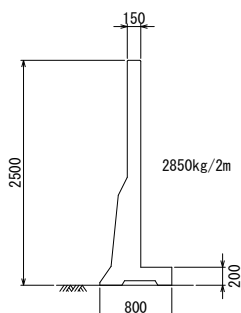
延長方向はボルト連結のため設置及び撤去が容易です。

4 SB種相当対応

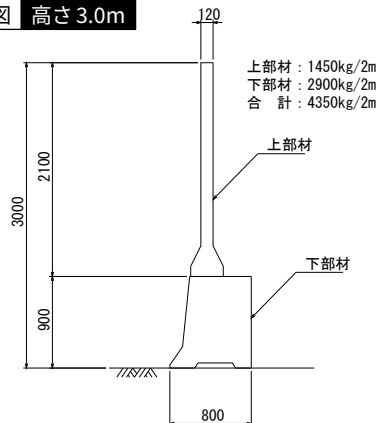
防護柵の種別は、「防護柵の設置基準・同解説」に定められたSB種相当に対応しています。

製品仕様

断面図 高さ 2.5m

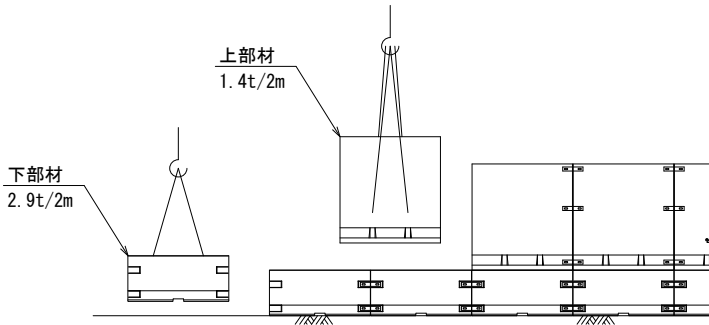


断面図 高さ 3.0m



▶ 施工の流れ

ラフテレーンクレーンでの施工を基本とする。上部材および下部材を所定の位置に据付け、上下連結ボルトおよび縦連結プレートを順次配置する。

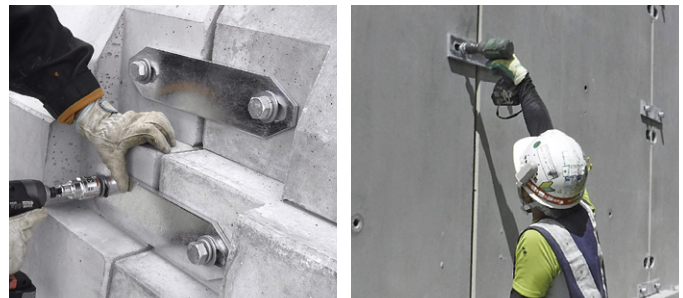


■ バリアウォール(高さ 3.0m) 施工イメージ

クレーンでの据付け状況

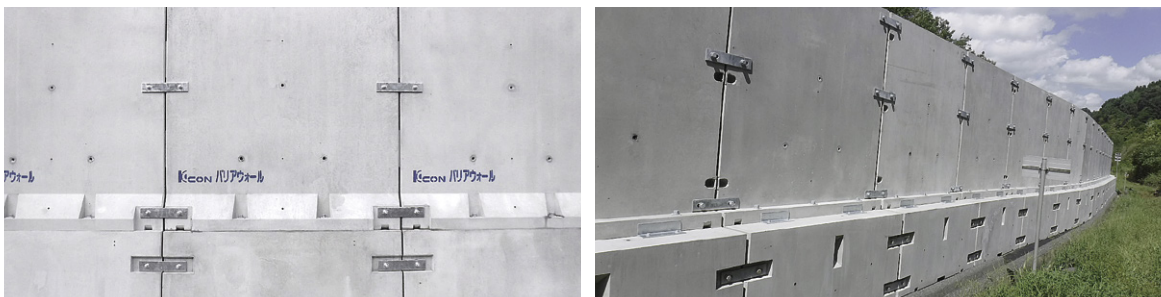


ブロックの連結



※上下連結のボルトはクラック防止のため、仮締めしてから対角に均等になるよう本締めしてください。

連結完了後のバリアウォール



バリアウォールの
施工説明動画が
インターネットで
ご覧いただけます



ケイコン株式会社チャンネル
KCON

▶ 各種付属物取付け事例



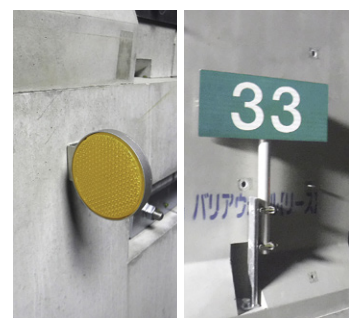
飛石防護ネットの取付け



ズレ止めアンカー



チューブライトの取付け



デリニエーターの取付け・既設距離標再利用